MSTO-211H

300450

□要

□明

MSTO-211H□胞株は、二相性中皮腫の患者、特に胸水から得られたものである。 MSTO-211H□胞株は、二相性中皮腫、特に胸水から得られたもので、転移性中皮腫に分類され、□胞株を樹立する前に放射線療法や化学療法は受けていない。 MSTO-211H□胞は、その生物学的挙動と癌研究における潜在的有用性の両方を理解する上で重要ないくつかのマーカーを発現していることが注目される。これらの □胞は上皮成長因子（EGF）に対する高親和性結合部位を持っており、 EGFは□胞増殖と分化の重要な調節因子であることから、この性質が増殖能に寄与している可能性がある。 EGFレセプターの存在は、これらの □胞が癌における成長因子シグナル伝達に関連する経路の研究に有用であることを示唆している。 EGFレセプターに加えて、 MSTO-211H□胞はニューロン特異的エノラーゼ（NSE）を発現している。MSTO-211H□胞におけるNSE発現は、神経内分泌分化の可能性を示している可能性があり、この特徴は中皮腫腫瘍の不均一性を理解する上で重要である。さらに、この □胞はヒト絨毛性ゴナドトロピン（HCG）のαサブユニットとβサブユニットの両方を発現している。MSTO-211H□胞におけるHCGサブユニットの発現は、腫瘍生物学における役割の可能性を示唆しており、免疫回避や腫瘍進行メカニズムに関連する可能性がある。これらのマーカーは総体的にこの □胞株の複雑な性質を強調しており、中皮腫の生物学と治療薬の効果を研究するための貴重なモデルとなっている。

ティッシュ	肺
病気	胸膜中皮腫

同義語

- MSTO-211 H
- MSTO211H
- MSTO-211
- 211H
- MeSoTheliOma-211H

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

腫瘍形成性	MSTO-211H□胞を接種したヌードマウスの約20%に腫瘍が認められた。

核型

モーダルナンバー＝72、範囲＝70~78

倍増時間	20時間

識別子

引用

MSTO-211H (Cytion カタログ番号 300450)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1430

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

タンパク質の発現

EGFに対する高親和性結合部位、ニューロン特異的エノラーゼ（ NSE）、HCGのαおよびβサブユニット、L-DOPA脱炭酸酵素（DDC）、ボンベシン、ニューロテンシンの発現は検出されなかった。

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

□胞は400,000個/cm2 の飽和密度に達するが、この密度に達すると表面から剥がれ落ちる。培地を除去し、カルシウムとマグネシウムを除いた PBSで付着□胞をすすぐ（T25□胞培養フラスコでは3~5mlのPBS ′ T75□胞培養フラスコでは5~10mlのPBS）。アキュターゼを加える（T25は1-2ml ′ T75は2.5ml）。周囲温度で8~10分間インキュベートする。□胞を慎重に培地（10ml）で再懸濁し、300xgで5分間遠心し、□胞を新鮮な培地に再懸濁し、新鮮な培地を入れた新しいフラスコに分注する。

播種密度	1 × 10^4 □胞/cm^2
流体の更新	週2~3回
解凍後の回復	解凍後、□胞を5×10^4□胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24時間以上行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

寄付者

ドナーの年齢	62年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB